

## 地下水膜ろ過システムの導入

病院長 村上円人

2022年度に当院は災害拠点病院に指定されたことに伴い、災害時でも安定した水を確保できる「地下水膜ろ過システム」を導入し、7月13日より本格稼働をいたします。今後は、本システムが当院に水道水を供給することになります。

「地下水膜ろ過システム」は、公共水道水と地下水を併用して水道水を作成し、自家発電設備につながっているため、以下の利点があります。

- ① 停電時も安定稼働
- ② 地上 90cm に設置され洪水にも対応
- ③ 上水道使用量の 80% を地下水で作成し、コスト削減は年間約 300 万円
- ④ 災害時に地域への飲料水供給も可能

災害拠点病院としての水の安定供給と安全性の確保に努めてまいります。

